



笑い話を交えながら講演する藤波洋香住職

今後の発展と連携誓う

第9回市老人クラブ大会

第9回市老人クラブ大会が12月21日、西根地区市民センターで開催されました。

大会には、会員や関係者ら約300人が出席。寄木念仏剣舞の披露や老人クラブ活動の功労者などが表彰されました。妙見山黒石寺(奥州市)の藤波洋香住職が「今ある幸せ」と題し、講演。時折ユニークな話を交えながら「日々の何でもない幸せを感じることが大事で、どんなことも小さな積み重ねです」と、出席者に語り掛けました。

感動に包まれた会場内

劇団「ふるさと発信株式会社」第17回公演

安代地区に本拠を置く劇団「ふるさと発信株式会社」の第17回公演「水平線の歩き方」が11月30日、安代小学校体育館で行われました。

公演は、主人公の社会人ラグビー選手が、自らの半生を回顧するうちに、自分一人で生きているわけではないことに気付く物語。亡くなった母親が出てくるなどの演出が行われました。公演終了後、来場者から劇団員に大きな拍手が送られたほか、感極まり涙を流す人もいました。



主人公(左)と周りで支える人たちの交流が描かれました

人を育てて地域を活性

盛岡法人会八幡平地区3支部合同市経済講演会

市経済講演会が11月27日、八幡平ロイヤルホテルで開催されました。

講演会には、商工会の関係者ら約70人が参加。独立行政法人中小企業基盤整備機構の長坂泰之氏が「まちのファンを育てる・まちの役者を育てる」をテーマに基調講演後、市の商工業・観光振興について討論を行いました。長坂氏は「地域や人の数だけ、町づくりができる。その達成には、人の育て方を学び、結束することが重要」と、討論をまとめました。



長坂氏(右)と田村市長をはじめとするパネラーの皆さん

安全と安心を呼び掛け

年末特別警戒合同パレード

市の防犯、交通安全団体による年末特別警戒合同パレードが12月16日、大更の商店街などで行われました。

パトロールには、岩手警察署、市防犯協会、市防犯隊、市交通指導隊、交通安全関係団体などから約50人が参加。『みんなであつこう安心の街』と書かれた横断幕を先頭に、大更の商店街をパレードしたほか、JR大更駅前で、駅利用者にチラシなどを配り、年末年始の地域安全と交通安全を呼び掛けました。



JR大更駅で降車した利用者にチラシを配布

バス旅行で市内を巡る

震災被災者リフレッシュ事業

市観光協会主催の「震災被災者リフレッシュ事業」の一環である無料バス旅行が12月16、17の両日、市内で行われました。

同事業には、宮古市、山田町、岩泉町から約80人が参加。バスで市内スキー場などを見学したほか、17日には、いこいの村岩手で餅つきが行われました。餅つきには、松野小5年生27人が来場し、参加者と懇談。参加者は、同校と大更小児童が栽培したもち米を使った餅を食べながら、気分転換していました。



震災での被害を免れた臼ときねで餅をつきました



手軽に栄養補給ができるスティック状のゼリー

健康と美容をサポート

山葡萄サプリメント発表会

山葡萄サプリメント発表会が11月26日、市役所本庁舎会議室で開催されました。

生産量日本一を誇る本市のヤマブドウを生かしたサプリメント「山ぶどうプルプルゼリー」は、市産業振興株式会社が開発。美容と健康に効果的な9種類の成分が配合されています。同サプリメントは「道の駅にしね」などで、7包入り1,134円、30包入り4,860円(いずれも税込み)で販売し、売り上げ1包当たり1円を沿岸被災地に寄付します。

すなっぷギャラリー



「ふるさとCM大賞 in IWATE2014」の審査会収録(11月30日、盛岡市・いわて県民情報交流センター)



NTT東日本岩手支店に市の防災拠点の光回線化について要望書を提出(12月11日、市役所本庁舎)



東北中学校スキー大会などの運営協力について陸上自衛隊岩手駐屯地と協定を締結(12月8日、同駐屯地)



浅沢少年消防クラブの隊員12人が防火水槽周辺を除雪(12月23日、浅沢地内)



「第3回歌謡と踊りの祭典」実行委員会が15万33円を寄付(11月28日、市役所本庁舎)